

「父母の恩」

最近の新聞やテレビの報道を見ていると、親が子を、子が親を虐待したり、けがをさせたり、最悪の場合殺してしまうという事件がよくあります。

人が人として安心して家庭生活を営むことができない社会になってしまったのでしょうか。私はこのような心が痛むことが多い世の中だからこそ、目先のことだけでなく、我が心の中を見つめていくことが大切だよという機縁をいただいているのだと思います。

私たちは人間として生きていくには誰もが4つの恩を受けています。『大乘本生心地観経』の最初に書かれているのが父母の恩です。私たちがこの世に生を受けることができたのは、お父さんお母さんのおかげであります。それも何億分の一の確率です。この貴重な一つの命を受けた私も大きくなると自分で生きてきたように思いがちです。私自身もそう思ってしまう一人ですが、0歳・1歳・2歳のことを思い出せと言われてもすっかり忘れてしまっています。

母乳やミルクをもらったこと、オムツを替えてもらったこと、熱を出して看病してもらったこと等、数え切れないほど父や母には世話になっている私。このご恩を忘れてしまっただけでは人間らしい生活ができないよということから4つの恩の最初に書かれているのだと思います。

私の家にも4歳と1歳の孫がいますが、毎日のようにやんちゃを言って父親や母親を困らせています。この姿を見ていると私も小さい頃はこんなにも親を困らせていたのかと、ひたすら懺悔せずにはいられない気持ちになります。

親が子どもの世話を、子どもが親の世話をするのが当たり前と、何でも当たり前と考えていくと心が冷めていくように思います。同じ一日を過ごすならば、ご恩をいただきながら、ありがとうと言える日を多く持ちたいものです。